

議会だより

しろたか

2015年7月22日発行
(平成27年)

Vol.127

山形県白鷹町議会
6月定例会

合言葉は「心・技・体」

蚕桑小学校すもう大会 10頁に関連記事

いよいよ施設整備へ 2p

・ここが聞きたい（2議員が熱弁） 6p

新企画 議会の疑問に答える

・「議会なになぜ？」 12p

整備に動き出す

6月 定例会

定例会は6月9日から19日までの11日間で開催されました。条例1件、補正予算2件などについて審議し、すべて原案のとおり可決しました。



町民に親しまれる施設へ

まちづくり複合施設（役場庁舎・防災センター・図書館・消防分署）整備のための基本設計業者を選定し基本設計作成へ

町では「まちづくり複合施設等整備基本構想」を策定。

東日本大震災や2年続けての豪雨災害を受けて、新たに整備する複合施設を防災の拠点であるとともに、質の高い行政サービスの提供とまちづくりの核となる施設とするなど、多くの機能を持った施設整備に取り組んでいく。

今後の進め方

①基本設計業者を※プロポーザル方式により選定を行い、選定した業者と基本設計を作成していく。

③消防分署は西置賜行政組合で平成28年度の施設完成を予定しており、綿密な連携をはかっていく。

②基本設計等発注のための予算措置。

（6月9日の予算特別委員会で審議し、基本設計ほか地積測量、木材の試験伐倒などに2千347万円の補正予算を可決した。）

来年3月には基本設計完成

平成27年6月下旬
基本設計業者選定に関する説明会の開催
8月中旬

基本設計業者選定の第一次審査（書類審査）

将来に向けた施設

議会では

「まちづくり複合施設等整備特別委員会」 を設置

「白鷹町役場等整備基本構想」から「まちづくり複合施設等整備基本構想」への名称変更を受けて、特別委員会名も「まちづくり複合施設等整備特別委員会」とした。

平成27年6月2日のまちづくり複合施設等整備特別委員会で施設整備の今後の進め方について説明を受けた。

8月下旬

基本設計業者選定の
第二次審査（面接審査）事業者確定

9月上旬

基本設計業務発注

平成28年3月

基本設計完成

4月

実施設計業務発注予
定

町産材の活用は

委員 試験伐倒を行う
ということは町産材を
使用することなのか。

当局 町産材を活用する
ために、使用する木材の杉は強度などのデータが無いと構造計算できない。実際に製材し基準値が取れる材なのか確認するため試験伐倒を行う。



有効活用に準備中

※プロポーザル方式

複数の業者に目的に合った企画を提案してもらい、その中から企画・提案能力のある業者を選定すること。

新体制でスタート

5月1日に初議会が開かれ、正・副議長の選挙が行われました。その結果、議長に遠藤幸一議員、副議長に小形輝雄議員が選出されました。2つの常任委員会などや一部事務組合議会議員の選任も行われ、新しい議会の体制が決まりました。構成は次のとおりです。

総務厚生常任委員会

所管 総務課、企画政
策課、税務出納課、町
民課、健康福祉課、病
院など

○奥山 勝吉
○田中 孝一

遠藤 幸一
今野 正明
関 千鶴子
佐藤 京一
笹原 俊一

議会運営委員会

○関 千鶴子
○奥山 勝吉
石川 重二
樋口 与一朗
小形 輝雄
笹原 俊一

監査委員（議会選出）

山田 仁

議会広報特別委員会

○山田 仁
○小口 尚司
石川 重二
佐々木 誠司
笹原 俊一

産建文教常任委員会

所管 産業振興課、建
設水道課、農業委員会、
教育委員会

○樋口 与一朗
○山田 仁

菅原 隆男
石川 重二
小形 輝雄
小口 尚司
佐々木 誠司

議会活性化特別委員会

○小形 輝雄
○樋口 与一朗
ほか議長を除く全議員

まちづくり複合施設等 整備特別委員会

○佐藤 京一
○田中 孝一
ほか議長を除く全議員

予算特別委員会

○菅原 隆男
○奥山 勝吉
ほか議長を除く全議員

置賜広域行政事務組合 議会議員

遠藤 幸一
関 千鶴子
樋口 与一朗

西置賜事務組合議会 議員

○奥山 勝吉
○田中 孝一
佐々木 誠司

○委員長
○副委員長



笑顔でスタート

補正
予算

このように決めました

質 疑

地域おこし協力隊活動費など

一般会計補正の主なもの

フラワー長井線対策費

鉄道事業再構築に向けた計画策定経費を、沿線2市2町で負担するための対応

240万円

地区コミュニティセンター費

地域おこし協力隊活動費や分館施設補助金の追加

979万円

まちづくり複合施設整備事業

設計業者選定のプロポーザルや基本設計、用地測量への対応

2347万円

放課後児童健全育成事業

放課後児童クラブ利用者増加等に基づく対応

336万円

コミュニティ助成事業

250万円

児童福祉総務費（保育給付費）

493万円

林業振興費（調査委託料）

50万円

河川水路維持費

250万円

ソフトボール場、野球場改修調査委託費

100万円

すまいる住まい！若者定住サポート事業

380万円

「すまいる！四季の郷」定住促進プロジェクト

170万円

など

◎ 財源は国、県支出金、地方交付税、繰越金などで対応します。

当局 あらと保育園児童保育の人数が51人となり、基準（おおむね40人）を超えたため1施設を増やすもの。要因として学校統合や雇用拡大によるものと考える。

委員 放課後児童の利用の増加の状況と対応を問う。

あらと保育園児童保育を2施設に



にぎわう学童保育

当局 2年連続の豪雨災害によって実淵川流域の状況も変わっているものと推測できる。住民生活への影響がないのか現地踏査して基本的な調査を行なう。

委員 林業振興費で実淵川流域の砂防堰堤調査内容を問う。

実淵川流域の現地を踏査



上流はどうなっている？

平成27年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		6901万円	77億601万円
特別会計	介護保険	75万円	15億7786万円

※万円未満は端数を調整しています。

町政を問う

町政全般について、その方針等の報告・説明を求ることをいいます。

若者の就労支援の取り組みを問う

町長 若者の働く場づくりを引き続き支援する

働く場が一番大事

問

若者の就労支援の取り組みを問う。

町長

企業誘致だけでなく、介護福祉関連の誘致等、また新規就農、6次産業化などを若者の働く場所と捉え、支援していく。

アイデアでPR

問

魅力ある白鷹町とするためのアイデアとして「日本の紅をつくる町」のステッカーをスクールバスに張込んだり、オリジナルTシャツなどを作りPRし、子ども達が喜ぶような施策を。



笹原俊一議員

教育次長

スクールバス等を活用してのPRは、貴重な提案。今後関係各課と協議し検討していく。

町長

Tシャツなどのアイデアに関しては、予算など総合的に勘案していく。



働く喜び

住民の生活を第一に考えた除雪体制を望む

町長 住民の要望把握に努め、除雪業務に取り組む

見守りの装備充実を

問

公用車全てにドライブレコーダーを装備し、住民や子供たちの安全を守り、交通事故の未然防止を。

総務課長

昨年導入したスクー
ルバスと今年導入した
消防団本部車にドライ
ブレコーダーを設置し
た。今後は公用車の更
新時に整備を検討す
る。

危険交差点の安全対策

問

繰り返し交通
事故が発生する
交差点対策として移動
型の点滅信号の設置
を。

建設水道課長

歩行者の
通行や除雪
時の支障にならないか
考慮して検討したい。

きめ細かい除雪対策を

問

除雪体制の地
元説明会の実施
と、高齢者・単独世帯
等への間口除雪への配
慮を。

町長

除雪の説明会
は降雪前に各地
区の要望を踏まえ各区
長との意見交換を行っ
ている。さらにまちづ
くり座談会でも除雪に
対する意見要望を伺
い、対策を講じてい
る。

建設水道課長

間口除雪
に関しては
業者への通達を行うと
共に今後も特段の配慮
をしていく。

その他の質問

・消防団のサポート事業について
・街路灯や公園の照明LED化について

2人の議員が

一般質問とは、議員が事務の執行状況や将来のため、政策の提言や質問を

「平和安全法」は憲法違反

町長 外交・安保は国家の責務



石川重二議員

平和安全法案への考えは

問 平和安全法制という法案は、

集団的自衛権行使容認の閣議決定を具体化するための法案で、海外で戦争する危険性がある。

自衛隊が戦闘地域で戦争支援を行う仕組みをつくらうとしている。自衛隊を戦地に送ることは憲法違反である。若者が犠牲になるかもしれない法案には首長として反対すべきでは。

町長 外交・安保は国家の責務でなし得るものであると認識している。

町の取り組みとしては、町民の皆様の永遠の平和と繁栄を願い、昭和60年に議会において平和都市宣言の議決をいただいた。

また、平成2年には新成人による平和都市宣言記念碑の除幕式を行い、平成23年からは平和首長会議に加盟し平和と繁栄を希求してきた。

さらに、戦後60年の節目にあたる、平成17年から毎年8月15日に永遠の平和を願い、平和祈念事業を開催している。

新成人による平和都市宣言の朗読や白鷹町少年少女合唱団による平和への賛歌などを行

ない、平和の尊さを再認識する機会として取り組んできた。

本町の自衛隊員数は

問 危険にさらされるかもしれない本町の自衛隊員数は。

総務課長 陸上自衛隊23名、航空自衛隊9名、海上自衛隊2名の計34名となっている。全国各地で任務の遂行に当たっていると聞いている。

社会保障への影響は

問 自衛隊員の家

族からは不安の声も聞かれる。自衛隊の処遇も含め、軍備増強の方向に向かえば、国民健康保険を含めた社会保障費の削減などで白鷹町を含む地方への影響も危惧される。このことについてどう思うか。



恒久平和を願って

町長 国民健康保険については平成30年から県が責任持つて取り組むことになった。このことは評価している。防衛費と社会保障費の関係については答弁できる立場になる。

平和への所見は

問 平和な地域社会への所見は。

町長 平和への取り組みは、一つの自治体だけの取り組みではなし得ない非常に大きな命題である。国民一人一人が平和を願い、その輪を全世界に広げていくことが重要であり、平和の尊さと大切さを後世に語り伝えていかなければならないと考えている。

総務厚生常任委員会

まちづくりは人づくり仕事づくり

6月16日に委員会が開催され請願審査のほか「地方創生」総合戦略策定状況、公立保育園の今後の方向性などについて説明を受けた。

概要

まち・ひと・しごと

創生法に基づき、本町の事態に合わせた「まち・ひと・しごと創生」に向け推進体制を整備、推進にあたるもの。

今後の対応

策定は10月末を目途とし、策定委員会での意見や、まちづくり座談会や各団体等での公聴会などにより具体的な意見を施策へ反映するものとする。

質疑

委員 まちづくり座談会では意見を出しやすい工夫が必要ではないか。

当局 できる限り意見を集約できるような開催方法にしたい。

委員 策定委員に産業界の方が少ないが人選の基準は。

当局 委員の選定は時間の関係上公募はできず、国の総合戦略の定める分野にならつて人選した。

委員 地方創生の理解が進んでいないので町民へ広く周知し、意見等を取り入れ、他と同じような計画にならないような仕組みで策定すべき。

当局 自治体間競争は生まれるが、10月目途というスケジュールの中、議論を重ね、他に比較して遜色のないものにしたい。まちづくりは人づくり、仕事づくりであるとの姿勢で取り組む。

どうなる？公立保育園

○町内保育所の状況

(1) 保育サービス

・延長保育時間

公立

7時30分～18時30分

民間立

7時00分～19時00分

(2) 入所児童数

さくらの保育園(民間)

174人

あらと保育園(民間)

132人

よつば保育園(民間)

102人

ひがしね保育園(公立)

59人

(平成27年4月1日現在)

○職員の状況

公立保育園の保育士は現在採用していないので、平成31年度から3人となり、平成44年度には0人になる。

○児童数

現在は2歳以上はほ



真剣です！

び100人を上回っているが、1歳と0歳は約80人となっている。

その他

○重要事業要望書の内容

○町内放課後児童クラブの状況

○旬ヶイエスしらたかの経営状況

○町立病院の施設状況についての説明があった。

質疑

委員 公立保育園の今後の方向性とスケジュールは。

当局 出生数がわかる9月頃から検討委員会を行う。

産建文教常任委員会

林業を「産業」として復活

6月17日に委員会が開催され、森林・林業再生協議会の取り組み状況や平成29年度全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール競技の開催についてなどの説明を受けた。

― 森林・林業再生協議会の取り組み ―

森林の状況

- ・面積 10,268 ha (林野率65%) うち民有林9,287 ha (民有林率90%)
- ・民有林のうち人工林5,303 ha (人工林率57%)
- ・所有状況 保有面積5 ha未満の林家(持ち主) 74%

短期目標

- 1、森林整備の見える化
- 2、木の良さを感じる
- 3、加工施設の強化・整備の検討

◎これらにより町民意識の醸成をはかる

将来は、町産材が無駄なく活用され、林業が産業として復活することを目標とする。

質疑

委員 境界明確化を早急に進める必要があると思うが。

当局 当町の山林は大半が民有地で小規模であり、個人の財産であるため地域の協力が必要なる事業である。

委員 公共施設の町産材利用はどこまで進んでいるのか。

当局 木材使用については計画に基づき進めていく。森林・林業再生協議会では町の資源を町内で使える仕組みにしたい、予算の範囲内でできることを検討している。

― 全カプレーができる環境づくりへ ―

平成29年7月29日から8月2日まで、女子ソフトボール競技が長井市と共同開催される。会場となるソフトボール場、野球場を改修して準備にあたる予定で、改修内容及び事業費調査を行う。

質疑

委員 就業センターの改修をどう考えているのか。着替えやシャワー室など快適にプレーができるよう検討を。

当局 就業センターは建築から相当年数が経過している。

新たな視点で、スポーツの拠点として検討している。基金の活用を含め、公園一帯の計画をしていきたい。高校総体には間に合わないが、施設を活用してもらえるような改修が必要と考えている。

委員

ソフトボール場の土の入れ替え、スコアボード、外野フェンスなどの改修の検討は。

当局 調査の中でどこまで対応できるか検討する。県からは既存の施設を有効に使う大会との説明を受けたが、「白鷹でいい試合ができた」と言われるよう最低限の整備は必要と考えている。

その他

- 地域住民生活用緊急支援のための交付金事業の状況
- 一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況
- ふるさと森林公園の状況について説明があった。



全カプレーを誓う

フラワー長井線の存続に向けて

平成27年6月2日の総務厚生常任委員協議会において山形鉄道株の経営改善に向けた取り組みについての説明を受けた。

現在の経営状況は

人口減少・少子化等の影響により利用人数はピーク時の約42・6%まで減少した。施設の老朽化に伴う改修費の増加により、沿線の2市2町の財政支援額の大幅な拡大が予想される。

今後の対応は

※上下分離方式を盛り込む鉄道事業再構築事業の認定に向けた取り組みを行う。

採択に向けては沿線の2市2町及び山形県の関係者による地域公共交通網形成計画を策定する必要がある。策定に要する経費は沿線自治体が負担する。

質疑

将来に向けた改善策は

委員 ※デュアルモードビークルの導入など利用者の減少に歯止めをかけるような改善策はあるのか。

当局 これまでも経営改善は行ってきたが、利用者増などは見込めない。沿線2市2町の温度差もある。しかし本町としては存続に向けて、現時点ではこの方法で取り組むしかないと判断している。

※上下分離方式

管理と運行を行う組織を分離し、会計を独立させる方式

※デュアルモードビークル
道路上、鉄道軌道上をとものに走行できる車両



地域の盛り上がり期待

議会広報特別委員会

―研修会報告―

町民に“伝わる”までが

議会の仕事

議会だより編集の研修会に出席

―議会広報の向上発展が目的―

5月22日、「議会広報研修会」が山形市で行われました。講師は、埼玉県コミュニティセンター理事長で、広報・編集コンサルタントでもある芳野政明氏でした。

―テーマは「読まれ
伝わる議会報の
基本と編集技術」―

講義は、川西町や庄内町など県内12の町で実際に発行された「議会広報」を検証し考察する形ですすめられました。



各町の自信作です

―むしろに―

議会広報の役割は、

政策が決定するまでの経過や、議事の内容をしっかりと町民に知らせることであり、町民に“伝わる”までが議会の仕事。わかりやすく、親しみのある、“読まれる”広報を編集するための基本と技術を学びました。

表紙

―77年の伝統―

蚕桑小学校すもう大会

蚕桑小に土俵ができたのは77年前の昭和13年、教育方針も変化する中で大切に受け継がれてきました。

勝って喜びに胸をはり、また、負けた悔しさに涙を流す姿もみられ、「大会で見たがんばりを忘れずに、かしこく、たくましく、やさしい大人になってほしい」と竹田典克校長先生の言葉で、元気なたたかいは幕を閉じました。



豪雨災害による影響深刻

《26年度も赤字計上》

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 五十嵐 政 司

◆概要 「一般財団法人」へ移行し経営改善3か年計画の最終年度であり、特に宿泊収入確保に重点を置き、地元食材による創作料理の提供や町内各団体との連携企画、季節イベントの創出など新たな取り組みを行った。

しかし、2年連続となった豪雨災害による影響は深刻であり、宴会部門および入湯部門は非常に大きな影響を受けた。

◆宿泊部門は堅調に推移 宿泊部門は、重点的に取り組んだ結果、上半期は前年同水準、10月以降も、中学校統合にかかる同級会の増加や早期割引クーポン販売を新たに導入するなどした結果、堅調に推移した。

◆収益高 経常収益の大幅減少により、合計は3億2233万円で前年比1304万円の減となり、1517万円の赤字となった。

◆人事 平成27年度、新しく専務理事に佐藤守氏が就任した。



黒字化へ向けた課題は

○主な項目の利用者数

宿 泊	1 万 358人
宴 会	2 万 1997人
レストラン	4492人
入 湯	6 万 4739人

○主な項目の売上金額

宿 泊	7903万円
飲 食	1 億 2541万円
入 湯	1198万円
売 店	1050万円
屋 外	613万円

町立病院調理師を増員

有限会社 ケイエスしらたか

代表取締役 藤 島 丈

町立病院職員等の雇用安定・待遇改善の目的で設立し、平成21年度からは労働者派遣事業を追加

◎平成26年度 業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・調理業務・電算保守等

◇白鷹町訪問看護ステーション

医療事務

◇白鷹町民課

国民健康保険事業支援業務

◎理事、職員数

理事 2名（非常勤・無給）

職員 26名

病院医療事務員 10名

病院事務補助員 5名

病院調理師 9名

訪問看護医療事務員 1名

国民健康保険医療事務員 1名

◎平成26年度決算

◇事業収益

◇事業費用

◇当期純利益

8 5 0 4 万円
8 4 5 6 万円
3 4 万円

※万円未満は端数を調整しています。

なになぜ



議会に対する素朴な疑問をQ & A方式で
分かりやすく解説します。

政務活動費ってなに？

Q 昨年から何かと話題の「政務活動費」ってなに。

A 議員報酬とは別に、町で行っている政策や、議員自らが提言する政策の調査研究等の活動に支給されるものです。

Q 具体的にどのような費用が対象になるの。

A 議員活動のための書籍購入や各種研修会参加費、視察費、事務費などです。（詳細は左ページを参照）

Q 白鷹町はいくらなの。

A 条例の規定により毎月5千円の活動費が支給されています。剰余金があれば返還します。

Q ほかの町はどうなの。

A たとえば置賜のほかの町は、活動費なしから毎月一万円までさまざまです。

Q どうして問題になっているの。

A 大きな自治体議会（県議会など）になるほど支給額が大きく、収支報告書提出の際に領収書の添付まで求めている自治体もあり、使い道のチェックが出来ないケースもあるためです。

Q 白鷹町は。

A 必ず領収書の添付が必要です。

Q そもそも「政務活動費」って必要なの。

A 地方議会やその議員の活動の重要性が増していることから、全国的に導入している自治体は増えているようです。

議員は常に様々な情

報を収集しスキルを磨く必要があり、そのための活動費です。

いずれにしても活動費の支給を受けている議員の活動がわかるように、常に公開しながら透明性を高めていくことが重要です。



新企画！ シリーズ

議会

平成26年度政務活動費 全議員の使い道を公開

各議員から提出された使途報告書に基づき公開します。

経 費	内 容
調査研究研修費	議員が行う調査研究に関する経費。議員が開催する研修会又は団体が開催する研修会へ参加するために要する経費。
資料購入作成費	議員が行う活動に必要な図書購入や作成に関する経費。
広報広聴費	議員が行う活動の報告又は広報に関する経費。
通信運搬事務費	議員が行う活動に必要な事務機器又は事務用品の購入並びに借上げなどの経費。
その他の経費	議員が行う活動に必要で、各項に規定する経費以外の経費。

(円)

議員名	調査研究研修費	資料購入作成費	広報広聴費	通信運搬事務費	その他の経費	計
今野 正明		74,752 新聞購読料、地方議 会、書籍	59,202 議会報告印刷代			133,954
奥山 勝吉	46,000 セミナー受講2回、交 通費・宿泊費	89,291 新聞購読料、地方議 会、書籍				135,291
新野いく子	10,000 セミナー受講	57,733 新聞購読料、地方議 会、書籍	3,000 議会報告印刷代		2,090 会場使用料	72,823
小形 輝雄	40,000 セミナー受講、交通費 ・宿泊費	73,985 新聞購読料、地方議 会、書籍				113,985
山田 仁		13,878 新聞購読料、書籍	66,960 議会報告印刷代			80,838
田中 孝	47,900 セミナー受講2回、交 通費・宿泊費	70,187 新聞購読料、地方議 会、書籍		7,380 プロバイダー接続料 (1/2)		125,467
小口 尚司		72,876 新聞購読料、地方議 会、書籍				72,876
樋口与一郎	77,680 セミナー受講4回、交 通費・宿泊費	28,340 新聞購読料、地方議 会、書籍				106,020
佐藤 京一		51,253 新聞購読料、地方議 会、書籍	4,320 議会報告印刷代	37,327 インターネット利用料 (1/2) プロバイダー接続料 (1/2)		92,900
菅原 隆男		66,900 新聞購読料、地方議 会、書籍				66,900
関 千鶴子		73,592 新聞購読料、地方議 会、書籍				73,592
守谷 丹吾		37,116 新聞購読料	36,000 議会報告印刷代			73,116
遠藤 幸一		56,952 新聞購読料、地方議 会、書籍		7,380 プロバイダー接続料 (1/2)		64,332
青木 彰榮		22,538 新聞購読料、地方議 会、書籍				22,538

※青木彰榮議員は10月8日に議員辞職し剰余金は返還しました。

※平成26年度分のために前期の構成議員が対象となります。

※すべての活動費を提出した議員と支給金額分の活動費のみを提出した議員と対応が違ってきます。

決まりはありませんが27年度からはすべての活動費について報告するよう統一し公開します。

契 約

●白鷹町斎場改修工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億713万6千円
契約の相手方 丸ト建設株式会社

●(仮称)町民武道館建築工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 3億2940万円
契約の相手方 共栄建運株式会社

●普通河川唐松沢河川災害復旧工事請負契約の一部変更

工事を実施した結果、設計の一部を変更実施するため。

契約金額657万7200円減額して、5271万4800円とする。

条 例

●白鷹町の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

介護認定審査会等における医師の有資格者委員の報酬改定
「20,800円以内」を「23,000円以内」とする。



完成が待たれる
武道館

請願・意見書

不採択になった請願

●「平和安全法制」法案の廃案を求める意見書提出についての請願

請願者 西置賜革新懇話会
代表世話人 今泉 義憲
賛成少数（3人）のため

委員長報告（総務厚生常任委員会）

防衛に対することで国の審査である。町村の権限以外の事であるため不採択が妥当。

原案に賛成の討論

戦争法案を審議すること事態が憲法違反行為であり、慎重に審議するよう求める。町民の命を守るため、また立憲国の責任と、その名誉を守り、町民の命とくらしを守るべくその負託をうけた議会として、可決すべきものである。

採択になった請願・意見書

●年金積立金の安全かつ確実な運用に関する請願

請願者 日本労働組合連合会地域協議会
議長 齋藤 貴裕
全員賛成

意見書(要旨)

- ・被保険者の利益のため、安全かつ確実な運用を堅持すること。
- ・これまでの国内債券中心の運用方法から、株式のリスク性の高い急激な変更は行わないこと。
- ・年金積立金管理運用独立行政法人に確実に意志反映できるガバナンス体制を構築すること。

(提出先)

内閣総理大臣 厚生労働大臣 衆議院議長
参議院議長



— あの質問のゆくえ —

エネルギープロジェクトへの取り組みは

小水力発電を含めたエネルギープロジェクトへの取り組みとはどのようなものか

平成25年3月

小水力発電の実証実験結果をどのように分析しているのか

平成26年9月

所管
答弁

実用化に向けては課題が多い

深山大堰で小水力発電実証実験として最上川環境技術研究所の機械を使って、1年をめどに電力量や水量のデータを取る予定。

平成25年3月

当初、0.5kWほどの能力を期待していたが、結果としては0.15kWで、蛍光灯32ワット4本分程度の発電量になっている。

実用化に向けては安定した水量の確保と、効率的な発電装置が必要と考えている。

平成26年9月



実用化に期待して

どうなった

年間を通した取水量は $0.03 \sim 0.04 \text{ m}^3/\text{s}$ 、発電量は $0.03 \sim 0.04 \text{ kW}$ というデータとなりました。

ただし、豪雨災害の影響で流出した土砂や、落葉が水路・機械に詰まり計測ができない状態に陥ったことや、冬期間に著しく水量が減るなどし、年間を通して安定した水量を維持し続けられないこともありました。

このように、自然エネルギーを活用した発電には、天候をはじめとした環境から受ける影響を十分考慮する必要があることや、安定した水量の確保、発電設備の周辺環境整備、設備投資に対する発電量など、実用化に向けては様々な課題があることから、今後の取り組みに活かしていきたいと考えております。

事業の検証と評価

東日本大震災以降のエネルギー需給政策の見直しにより、再生可能エネルギーの導入拡大が模索され、小水力発電についても先進的な事例が書籍、マスコミ等でも数多く紹介された。事業に取り組むにあたり、この度の実証実験での課題はある程度想定できたものもあると思われる。

本町は、特に西山からの水量は豊富で貴重なエネルギー源であることから、今後の導入に向けて期待する。





遠藤奈津子 さん
(蚕桑地区)

最初は
電話も
怖くて…

インタビュー よむぞったなっすー

刺激があって楽しめる町に

ご出身は

大阪市福島区の下町です。大都会です(笑)

白鷹町の第一印象は

自然が豊かだなあ。スキーをしていたので、雪を楽しむのにして来しました。

ご主人との馴れ初めは

仙台の友人の結婚式で知り合い、嫁いで十六年になります。主人の家族が温かく迎えてくれました。

環境が変わって大変だったことは

寒さより方言を覚えるのが大変でした。

電話も怖くて取れませんでした。

最近では白鷹弁を普通に聞けるようになって五年、話せるようになって二年というところですよ。

白鷹に来て驚いたことはありますか

食べ物の美味しいことに驚きました。

お米はもちろん、野菜は新鮮で、特にきゅうりを生のまま味噌を付けて食べるのには驚かされました。

お客様が来た時など食卓に自家製の漬物や料理でもてなすなどということは大阪では考えられなかったことです。旅

行とかにもきゅうりやナスの漬物を持って行きますものね。

白鷹町に期待することとは何ですか

県外から来た私からしたら、山や川、地域の行事、たくさん降る雪でさえ魅力にあふれた町です。

もともと白鷹町で生まれ育った人たちには当たり前のことでも都会の人たちからすればわくわくするようなことだらけで子どもの頃から白鷹町のすばらしいところをたくさん発見してもらいたい。

白鷹町の人は少し控えめでアピールが下手なように感じます。楽しい企画をどんどん出して、県外からたくさんの人たちが出てくるようなイベントをやって

もらいたいです。

そんなイベントが自然に婚活につながっていくけば最高ですよね！

最後に、議会に期待することは何ですか

ん。次代を担う三十代、四十代の話をもっと聞く機会を設けてもらいたいですね。

若者の意見を取り入れて、一年中刺激があって楽しめる町、活気のある笑顔あふれる町になるように頑張ってもらいたいです！



編集後記

議会も新しい議員構成により、スタートを切りました。

今は、日本中で地方創生のあり方が論じられています。真の創生とは、地方の自立であると思います。

それらに向かって、議会活動と町民の皆さまとのかけ橋となれるよう、工夫をこらして情報提供に努めるつもりです。

新しく、「議会なになぜ？」なども企画してみました。今後とも、議員の自主編集でわかりやすく、読みやすい議会だよりを目指しますののでいろいろとアドバイスをお願い申し上げます。(山田)

広報委員

委員長	山田 仁
副委員長・編集長	小口 尚司
委員	石川 重二
委員	佐々木 誠司
委員	笹原 俊一
印刷	(有)梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会 議長 遠藤 幸一 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128

E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。